

事務事業評価シート2(一般事業)

1 基本情報

1 基本情報		事業番号	0240/350515/09/00		事業の種類		5	
年度	19	事務事業名	相生ペーロン協会事業		作成日	平成21年1月20日	重要度	5
予算事業名		相生ペーロン協会事業		担当部課名	産業振興課			
政策名		にぎわいと活気のあるまちづくり						
施策名		商業・サービス業・観光		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無	
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市内小中学生						
	誰(何)を対象として	市内小中学生						
	意図(どのような状態にしたいのか)	ペーロンの普及・後継者の育成を図り、相生ペーロンを将来に継承する。						

2 事業の概要 Do

実施の概要		ペーロン文化の普及啓発と後継者育成のため市内小中学生対象に体験乗船会を実施				
活動実績	項目	単位	17年度実績	18年度実績	19年度実績	20年度計画
	体験乗船参加者数	人	1,285	2,276	1,905	2,000

3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		17年度決算	18年度決算	前年比	19年度決算	前年比	20年度予算	前年比	備考
人員	課長以上職員	0.108	0.083	76.9	0.084	101.2	0.081	96.4	
	主幹以下職員	0.100	0.100	100.0	0.100		0.100	100.0	
	臨時職員			-		-		-	
支出内訳	人件費	1,846,208	1,573,434	85.2	1,600,984	101.8	1,558,772	97.4	
	事業費	800,000	600,000	75.0	600,000	100.0	600,000	100.0	
	合計	2,646,208	2,173,434	82.1	2,200,984	101.3	2,158,772	98.1	
財源内訳	国庫支出金			-		-		-	
	県支出金			-		-		-	
	市債			-		-		-	
	その他			-		-		-	
	一般財源	2,646,208	2,173,434	82.1	2,200,984	101.3	2,158,772	98.1	
	合計	2,646,208	2,173,434	82.1	2,200,984	101.3	2,158,772	98.1	

4 評価指標

【有効性】

指標名1		体験乗船会参加者数							
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
人	目標	1,300	1,300	100.0	2,000	153.8	2,000	100.0	
	実績	1,285	2,276	177.1	1,905	83.7			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	目標			-		-		-	
	実績			-		-		-	

【効率性】

指標名1	体験乗船実施の執行体制の効率化								
指標説明(式)	ペーロン協会として、体験乗船事業の執行体制について、検討を図り、効率性に努める。								
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
円	実績								
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	17年度	18年度	前年比	19年度	前年比	20年度(計画)	前年比	備考
	実績			-		-		-	

5 事業の評価(19年度実績) Check

評価視点	具体的な評価観点	評価コメント及び現状認識	1次評価(係長)	2次評価(課長)
妥当性	目的の妥当性	ペーロン文化の普及・啓発、後継者育成のため、市内小中学生を対象とし、ペーロン体験乗船事業を行うためには、そのノウハウを持つペーロン協会に委託することが妥当である。	5	5
有効性	成果目標(改善)達成度	市内の小中学校・子供会の希望校が参加し体験乗船を7回(市外含む。18回)実施したが、雨天により2校が中止したため、参加者は少し減少した。	4	4
効率性	手段の最適性	体験乗船にかかる費用等については、艇使用料・指導料・警備艇の経費であり、必要最低限の額に設定しており、コストは適正である。	4	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	中学校の参加が1校であり、市内全中学校が参加することを目指す。

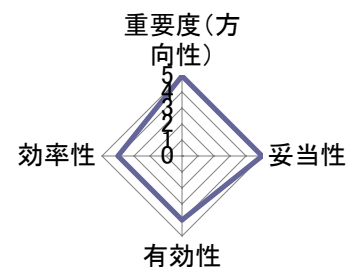
7 事業の改革改善 Action

(1) 評価結果を踏まえた20年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	成果の向上	中学校の参加が1校であり、市内全中学校が参加するよう、教育委員会と協議を継続していく。
H19→H20予算反映額		

(2) 20年度の実施方針

継続実施



検討の有無	—
総合指標	25.5